

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：令和8年4月23日（木）

- ・英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」：令和8年4月20日（月）～23日（木）のうち1日
- ・英語「話すこと」：令和8年4月24日（金）～5月29日（金）のうち1日

- 調査の目的**
- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
 - ◇学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
 - ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

小学校 児童質問調査および中学校 英語・生徒質問調査は、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT：Computer Based Testing）で実施します。

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

② 質問調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|---|--|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的な生活習慣等、家庭学習の状況 など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など |

時間割

1. 小学校

| 4月23日（木） | 1時限目 | 2時限目 |
|----------|---------------------|---------|
| | 国語（45分） | 算数（45分） |
| 調査実施日 ※1 | ※2 児童質問調査（20分程度） | |

※1 4月24日（金）～5月8日（金）のうち1日（学校ごとに指定）

※2 各学校の状況に応じて調査時間を設定して、MEXCBTを用いてオンライン方式で実施。調査実施日に実施できない場合は学校外での実施も可。

2. 中学校

(1) 国語、数学、英語（「話すこと」以外）

| 4月23日（木） | 1時限目 | 2時限目 |
|----------|--|---------|
| | 国語（50分） | 数学（50分） |
| 調査実施日 ※3 | ※4 英語「読むこと」「書くこと」（50分程度） 英語「聞くこと」・生徒質問調査（50分程度） | |

※3 4月20日（月）～4月23日（木）のうち1日（学校ごとに指定）

不測の事態で実施できなかった学校は、4月24日（金）の予備日での実施も可。

※4 MEXCBTを用いてオンライン方式で実施。4月27日（月）以降は学校外での実施も可。

(2) 英語「話すこと」※5

○当日実施校（4月24日（金）、27日（月））

○期間内実施校（4月28日（火）～5月29日（金））

| 文科省指定日 |
|-----------------|
| 英語「話すこと」（20分程度） |

| 文科省指定日 |
|-----------------|
| 英語「話すこと」（20分程度） |

※5 MEXCBTを用いてオンライン方式で実施。期間内実施校は事情に応じて学校外での実施も可。

問題例：過去の全国学力・学習状況調査より

全問題については、国立教育政策研究所HPをご参照ください。

小学校・国語
(令和7年度)

複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる(言葉の変化)

3

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子1】
ぼくが読んだ二つの資料(「資料2」「資料3」)には、言葉が変化していることが書かれていたよ。「資料1」に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

【資料4】
私は、この資料(「資料4」)を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがいがいることが分かるでしょ。本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。こんなふうに、人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、「資料1」に「**A**」と書かれているとおもうよ。

【資料1】
言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。もう一度「資料1」を読み返して、言葉の変化について自分が一番納得したことや、あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(2)
木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番納得したことを、「資料2」「資料3」「資料4」に書かれています。理由をまとめてください。

【条件】
○ 言葉の変化について納得したことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 納得した理由を「資料2」「資料3」「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

| 世代 | 小雨が降ったりやんだりしている様子 (%) | 雨が降りそうな様子 (%) |
|--------|-----------------------|---------------|
| 16-19歳 | 31.8 | 59.4 |
| 20代 | 42.8 | 43.5 |
| 30代 | 34.1 | 53.7 |
| 40代 | 33.4 | 53.8 |
| 50代 | 26.1 | 61.2 |
| 60代 | 33.6 | 52.6 |
| 70代以上 | 39.8 | 46.2 |

●出題の趣旨

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

●正答例

言葉は年月とともに変化するということになってくしました。なぜなら、「新しい」という言葉が、奈良時代には「あらたし」と言われていたように、時代とともに言葉の形が変わることがあるからです。

小学校・算数
(令和7年度)

計算の仕方について統合的・発展的に考察すること(小数と分数)

3

(3) 次の数直線のア、イの目盛りが表す数を分数で書きましょう。

●出題の趣旨

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができるかどうかをみる。

●正答

【ア】 $\frac{1}{3}$

【イ】 $\frac{5}{3}$ 又は $1\frac{2}{3}$

小学校・算数
(令和7年度)

日常の事象について伴って変わる二つの数量の関係に着目して考察すること(ハンドソープ)

4

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープののっている広告を見ました。広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。

増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。上の○にあてはまる数を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.1
2 1.1
3 10
4 110

●出題の趣旨

「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる。

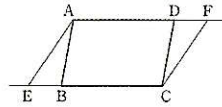
●正答

2

9

(2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直す必要がある部分を、下のAからオまでの中から1つ選び、正しく書き直さない。

図2



- ア 平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、
AD // BC
よって、AF // EC ……①
- イ 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、
AD = BC ……②
- ウ 仮定より、
DF = BE ……③
- エ ②、③より、
AD - DF = BC - BE ……④
- オ ④より、
AF = EC ……⑤
- ①、⑤より、
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、
四角形AECFは平行四辺形である。

●出題の趣旨

統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる。

●正答例

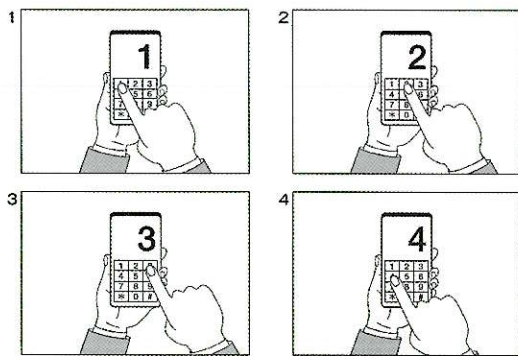
エ を選択し

「②、③より、 $AD + DF = BC + BE$ …④」と記述しているもの

2

(放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。



(スクリプト)

This is ABC shopping center. Thank you for calling. How can we help you? If you want to know our opening hours, please choose number 1. If you want to join our shopping club, please choose number 2. If you lost something in our shopping center, please choose number 3. If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.

●出題の趣旨

日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

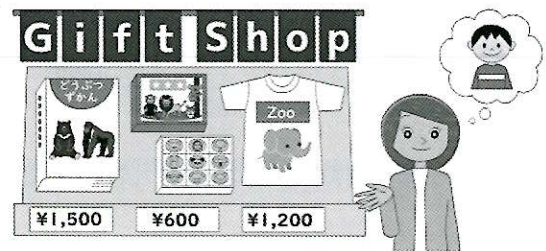
●正答

3

1

あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。

(4)



(スクリプト)

I want to buy a gift for my host brother. He is only 4 years old. Which one should I buy for him, a picture book, animal cookies or a T-shirt? And why do you think so?

●出題の趣旨

日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができるかどうかをみる。

●正答例

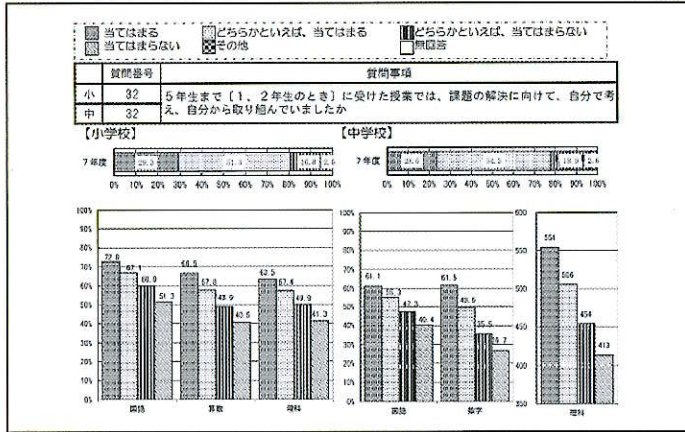
You should buy a picture book.
He can learn about a lot of animals.

調査結果等の集計・分析・提供

集計・分析

- ◇国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
- ◇児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表

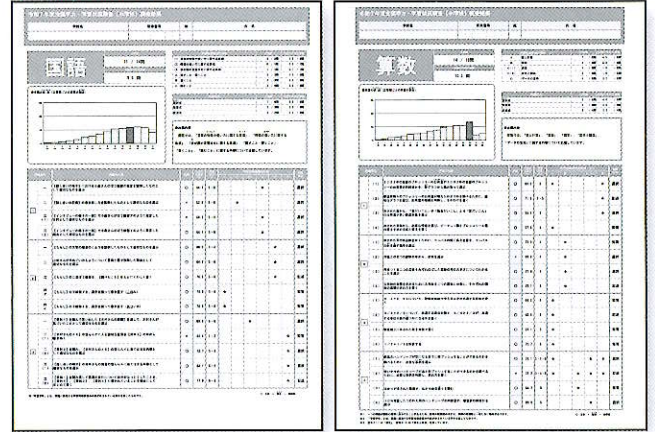
▼公表する調査結果の例



提供

- ◇各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率・無解答率、IRTスコア、類型別解答状況
 - ・質問調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

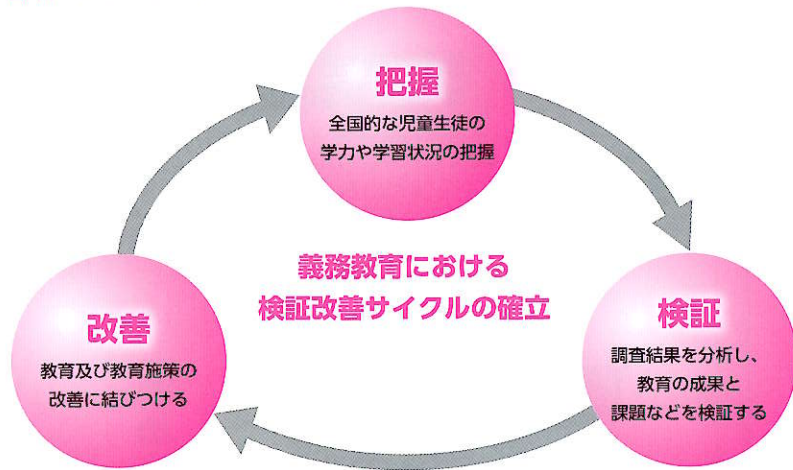
▼「個人票」のイメージ



中学校英語は、IRTスコアをベースに調査結果を示します。

IRT：児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論 (Item Response Theory)。

調査結果の活用



| | |
|-------|---|
| 国 | 教育の改善に向けた全国的な取組を推進 (例) 学習指導要領の改訂、各種施策の検証・改善、 教員の配置等への支援、教育委員会や学校 における改善の取組への支援 など |
| 教育委員会 | 域内の教育の改善に向けた取組を推進 (例) 教員の配置等の工夫、教員研修の充実、 学習指導等の改善のための資料の作成、 保護者や地域と連携した取組 など |
| 学校 | 個々の児童生徒の課題に応じた 学習指導の改善に向けた取組を推進 (例) 教科に関する調査や質問調査の結果の総合 的な分析、課題を踏まえた授業改善・校内研 修、学習・生活習慣に関する保護者への働き かけ、放課後等における補充学習 など |

◎全国学力・学習状況調査を活用するための参考資料等

■全国学力・学習状況調査解説資料

調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したもの。

■全国学力・学習状況調査報告書

調査結果を公表するとともに、調査結果を踏まえて学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成したもの。各問題について、解答類型と反応率、分析結果と課題、学習指導の改善・充実を図る際のポイント、授業アイデア例等を記述。

■授業アイデア例

各学校において、今後の教育指導や児童生徒の学習状況の改善等に活用できるようにするため、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すもの。

■全国学力・学習状況調査の結果を用いた追加分析

国や教育委員会、学校等の教育活動や、教育施策の一層の改善を図るため、大学等の研究機関の専門的な知見を活用し、高度な分析・検証を行った調査研究の報告書。

〈分析例〉

- ・効果的な指導方法や取組について
- ・教員委員会や学校における調査結果の分析・活用手法について
- ・児童生徒の社会経済的背景 (SES) と学力の関係について

文部科学省HP
国立教育政策研究所HP

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/
<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

全国学力・学習状況調査

検索